ここで、ちょっと次の問題をさら~っとご覧になってください。

第59回(平成21年度)第二問 問4(全5問)の類題です。実際の試験では、目標解答時間は「6分以内」です。

ふだん、教室で講義を受けるときは、このような「本番を想定した時間配分のテクニック、解くべき問題と捨てるべき問題の見分け方、解くべき問題の効率的なアプローチ法」などについて、ほとんど言及されません。あえていうなら、これらの問題の一部を例題などとして、単発で解説したり自習で解かせたりするだけです。だから、「本番の試験で使える応用力」がなかなか身につかないのですね。

(柴山式アプローチ)1ヶ月目の講義から、このような本番を想定した指導をどんどん行います。(ここでは2つのうち1つを取れば合格ライン!)

- ◎ステップ1 問題文を2分で読み、概要を理解する。
 - →(資料1と資料3まで使わないと(2)はできない。リスク高!)
- ◎ステップ2 (1)当座預金勘定残高の解答だけに絞ると決断する。
- ◎ステップ3 のこり2~3分で、(1)を確実に解き、解答記入する!
- ◎ステップ4 (2)は後回しにして、すぐ次の問題に『躊躇なく』進む!

『A社の決算整理前残高試算表(一部)は、次に示すとおりである。【資料1】 ~【資料3】に基づき、以下の(1)と(2)に答えなさい。(会計期間は1年、決算日は3月31日)(単位:円)。

決算整理前残高試算表(一部)

現金	(各自推計)		
当座預金	(各自推計)		
普通預金	2,670,750		
定期預金	6,975,000		
別段預金	2,100,000		

【資料1】決算整理に当たり金庫を実地調査したところ、次のものが保管されており、それぞれの項目は適正に処理されている。

1 通貨	562,350 円
2 外国通貨	8,400 ユ─□(EUR)
3 長期の先日付小切手	60,000 円
4 他人振り出しの小切手	130,950 円
5 振替貯金払出証書	99,300 円
6 配当金領収書	90,000 円
7 社債利札(期日未到来)	112,500 円
8 送金為替手形	133,500 円
9 金銭消費貸借契約書	450,000 円
10 トラベラーズ・チェック	1,800 米ドル(US\$)
11 収入印紙・切手(未使用)	12,675 円

なお、「2外国通貨」の取得時における為替相場は1ユーロ=159円、平成22年3月31日における為替相場は1ユーロ=131円である。また、「10トラベラーズ・チェック」の購入時における為替相場は1米ドル=107円、平成22年3月31日における為替相場は1米ドル=99円である。

【資料2】

- 1. 平成22年3月31日における銀行残高証明書の当座預金残高は 3,784,350 円である。
- 2. 平成 22 年 3 月 31 日現金 1,263,000 円を当座預金に預入れたが、 銀行では翌日付けの入金になっていた。
- 3. 銀行残高証明書から、次のような事実が判明した。
- ①B社振出しの小切手 94,350 円が当座預金出納帳では入金扱いとなっていたが、銀行に取立てを依頼したところ不渡りとなり、その旨がA社に未達になっていた。
- ②銀行に取立てを依頼した手形 602,700 円(X社振出しの約束手形)が取り立て済みであったが、その旨がA社に未達になっていた。なお、取り立て手数料は 4,200 円である。
- ③当座借越に係る借入金利息 4,950 円が当座預金口座引落しで支払われていたが、その旨がA社に未達になっていた。
- 4. A社が以前に振り出していた小切手のうち、平成 22 年 3 月 31 日において、次のものが銀行で未決済の状態になっていた。

№1234 55,500円、№1236 74,400円、№1239 181,500円

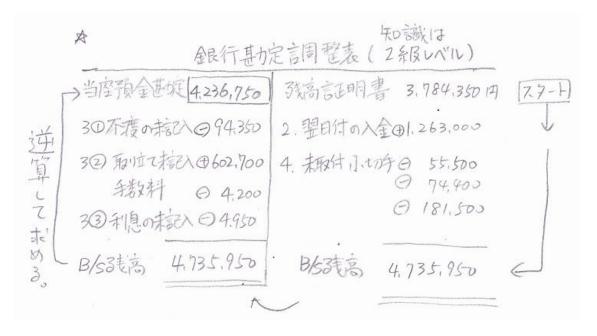
【資料3】平成 22 年 3 月 31 日における定期預金の明細は、次のとおりである。

	金額	期間	利率(年)	満期日
1	975,000	1年	0.25%	平成22年9月30日
2	1,500,000	2年	0.28%	平成23年1月31日
3	4,500,000	5年	0.40%	平成23年4月30日

- (1)決算整理前残高試算表の「当座預金」勘定の残高を計算しなさい。
- (2)平成22年3月31日における貸借対照表上の「現金及び預金」の金額を計算しなさい。







- (2)の集計過程
- ①現金預金
- ②当座預金
- ③普通預金
- ④定期預金
- ⑤別段預金

※別段預金 : 銀行業務に該当しないお金を預かり、一時的に保管しておくための便宜上の預金科目です。

「雑預金」ともいいます。

①~⑤の合計 …